

# 地域における青少年健全育成推進会議

令和7年6月25日（水）

オンライン開催

#### ○地域活動推進担当課長

大変お待たせいたしました。ただ今から令和7年度地域における青少年健全育成推進会議を開会いたします。

本日はご多用のところご出席いただきまして、誠にありがとうございます。私は、本日の司会を務めます、東京都都民安全総合対策本部総合推進部地域活動推進担当課長の山上と申します。どうぞよろしく願いいたします。

それでは、開会にあたり、地域における青少年健全育成推進会議会長の東京都都民安全総合対策本部長竹迫宣哉よりご挨拶いたします。

#### ○都民安全総合対策本部長

皆さんこんにちは。本会議の会長を務めます、東京都都民安全総合対策本部の竹迫でございます。開会にあたりまして、一言ご挨拶を申し上げます。

さて、私ども生活文化スポーツ局都民安全推進部は、本年度より都民安全総合対策本部として独立し、新たなスタートを切りました。名前の通り、これからも皆様とより連携を一層深めながら、青少年の健全育成に取り組んでまいります。今後ともご協力のほど、よろしく願い申し上げます。

さて、委員の皆様におかれましては、平素よりそれぞれの御立場で、地域における青少年の健全育成にご尽力をいただいておりますことに対しまして、敬意を表しますとともに、心より感謝を申し上げます。

東京都では、子供の規範意識やコミュニケーション力を育む取り組み、地域の中で障害者、高齢の方々などとの交流により、「他者を思いやる」、「外国人との交流を通して多文化への理解を深める」など、青少年のダイバーシティの意識を育む取り組みを推進しているところでございます。こういった取り組みをより効果的に進めるには、本日参加いただいております各地域の青少年関係団体の皆様、区市町村や学校関係の皆様のお力が重要であると考えております。

先ほどこの会議の親会でもあります「東京子供応援協議会」におきまして、一般社団法人子ども声から始めよう代表理事の川瀬信一様より、「地域における子どもアドボカシーの取組」というテーマでご講演をいただきました。子供たちが地域の中で自分の意見や願いを自由に表明し、安心して地域活動に参加していくようにするにはどうすればよいかを考える良い機会になったと思います。

本日は、中央区、福生市のご担当者様より、都の事業のご活用事例なども発表いただく予定でございます。委員の皆様におかれましてはこの場を通じて、現場でのご苦勞や工夫

されている点、日頃のご活動を通じて感じたことについて、忌憚のないご意見をいただきまして、今後の取り組みに生かしてまいりたいと考えております。本日はどうぞよろしくお願い申し上げます。

#### ○地域活動推進担当課長

ありがとうございました。

議事の前に、本日の会議の公開について申し上げます。東京都では、附属機関等設置運営要綱に基づき、調査審議につきまして、原則として公開する旨規定されておりますので、本日の会議は公開とさせていただきます。また、議事録につきましても同様な扱いとなります。本会議終了後、委員の皆様にご確認いただいた後、公開する予定でございます。ご承知おき願います。それでは議事を進めさせていただきます。

まず、東京都の青少年健全育成事業についてご報告いたします。

東京都では、本会議を含め、子供達の規範意識やコミュニケーション力を育む取り組みをはじめ、地域で、高齢者や障害者など様々な人との交流により「他者を思いやる」、外国人との交流を通じて「多文化への理解を深める」等、ダイバーシティの意識を育む取り組みを進めています。

画面には、私ども都民安全総合対策本部地域活動推進担当の所管する事業等を図にお示ししております。区市町村の青少年行政主管課や青少年健全育成地区委員会、学校等と連携しながら、地域における青少年健全育成活動の支援を展開しているところです。

「地域における青少年健全育成推進会議」は、これらの取り組みを推進するため、都と区市町村、地域活動を行う団体との連絡調整を目的として設置されており、親会である「東京子供応援協議会」の部会となっております。

本日は、これら都の事業の中でも、地区委員会を支援する事業を中心にご紹介してまいります。

「地区委員会アドバイザー派遣」は、地区委員会の皆様が活動をしていく上での様々なお悩みを解決するために、民間のアドバイザーが考え方のヒントや取組事例を紹介し、地区委員会の皆様と意見交換をしながら一緒に考える講座でございます。「地区委員会活動を担う新たな担い手の確保・人材育成」や「新たなイベント実施のノウハウ」、「子供の主体的な参加促進」など5つのテーマの中から各地域の実情に応じたものを選択していただき、お悩みの解決に資する講演を行っています。

まずは講義形式で情報提供を行った後、グループ討議等で情報交換をしていただくことにより、お悩み解決のヒントを一緒に考えてまいります。

画面は、昨年度、文京区で実施した事例です。「新しい担い手の確保と地域づくり」をテーマに、講義とグループワークを実施し、地区委員会の活動に役立てていただきました。

この後、同じく昨年度当事業を活用していただいた中央区と福生市の青少年行政主幹課から利用状況についてご報告いただく予定でございます。

なお、本事業ですが、令和7年度分もまだ若干の申し込みの枠が残っておりまして、是非活用されたいという地区の方がいらっしゃいましたら、こちらまでお問い合わせください。

続いて、「青少年健全育成地区委員会等推進モデル事例集」は、地区委員会等が地域ぐるみで青少年を育成する取組を紹介し、今後の活動に参考としていただくものでございます。昨年度は大田区、江戸川区、立川市、調布市の取り組みを指定しております。

今年度も、地域で協力の輪を広げた取組を中心に審査を行い、事例集の作成を進めています。昨年度の事例集はホームページからダウンロードできますので、是非ご覧ください。

指定された推進モデルは、事例集に掲載するとともに、青少年健全育成地区委員会連絡会研修会において、事例発表を行っております。昨年度の事例発表の様子も東京都の公式動画サイト「東京動画」に掲載しております。

続いて、「青少年育成ハンドブック」についてご紹介します。

東京都では、青少年の健全育成に携わる方々への情報提供として「青少年育成ハンドブック」を作成しております。作成にあたりましては、区市町村の皆様にご協力をいただいております。

この青少年育成ハンドブックの内容には、青少年の現状に関する統計情報及び相談機関や関連施設等の連絡先がまとめられております。地区委員会の皆様には、活動に当たって何かを知りたい・調べたいと思った時の手引きのような形でご利用いただけるかと思えます。こちらも東京都公式ホームページでダウンロードしていただけます。

東京都は、引き続き、地域で青少年健全育成に携わる皆様と一緒に取り組みを進めて参ります。今後ともよろしく願いいたします。

以上で報告を終わります。

次に、区市町村の青少年健全育成活動について、中央区様よりご報告いただきます。

○中央区区民部文化・生涯学習課青少年係長

皆さん、こんにちは。中央区文化・生涯学習課の内田と申します。本日はよろしくお願

いします。

中央区では、昨年度に東京都さんで実施している地区委員会アドバイザー派遣事業を利用させていただきました。

中央区では、連合町会単位で青少年対策地区委員会を組織しており、現在 19 の地区委員会が地域の青少年の健全育成のための活動を行っていただいております。

その活動を行っていただいている青少年対策地区委員会の委員を対象に、区では毎年地区委員研修を 2 回実施しております。奇数の年は 2 回の講義形式の研修を実施しており、偶数の年は講義形式を 1 回、救急救命講習を 1 回の研修を実施しております。

昨年度は偶数年でしたので、講義形式を 1 回、救命救命講習を 1 回の研修でしたが、講義形式の 1 回分に東京都の地区委員会アドバイザー派遣事業を利用させていただいております。

講習の詳しい内容については、担当の方から説明させていただきます。

#### ○中央区区民部文化・生涯学習課青少年係

担当の鈴木と申します。よろしくお願いいたします。

まず、開催日時は、令和 7 年 2 月 13 日 18 時 30 分から、場所は中央区役所の会議室で実施いたしました。当日は 19 地区委員会から 35 名が参加いただきました。

講義のテーマは資料にも記載されておりますが、「関わりたい地区委員会活動、参加したくなる広報戦略」でお願いいたしました。

中央区では毎年、研修終了後のアンケートで次年度やってほしい内容を伺っており、そちらに基づいて講義内容を決定しております。令和 6 年度に向けた要望としては、SNS 等を活用した地域の担い手の確保、育成に関するものが多く上がっておりました。区としましても、実際、中央区の地域コミュニティは、地区委員の高齢化や人材不足による運営面での不安定化が課題となりつつあると考えています。また、中央区の定住人口は力強いペースで増加しており、令和 9 年度中には 20 万人に達する見通しです。このような流れの中で、この機会を逃さず、新しい世代、若い世代を地域活動に呼び込むことが地域には必要であり、また、既存の人材の能力を最大限活用することも求められています。

これらを受け、当テーマを地域の担い手の確保育成とし、今回は申し込み時にテーマを入力する欄がありましたので、そちらにテーマを入れ、そのテーマに合った講師を派遣させていただきました。

講師は、総務省で地域力創造アドバイザーをしていらっしゃる奥村玄様です。地方のまちづくりに尽力されたご経験や、大学で教鞭をとっていらっしゃったこともある方で、最

適な方をご紹介いただけたと感じております。当日の講義は、「中央区の概要」、「地区委員会の目的・課題」、「大人も子供も関わりたくなる地区委員会活動」、「参加したくなる広報戦略」、「企画から実施まで、事例を通して考える」、の5段階の内容であり、最後にグループワーク発表がありました。

「中央区の概要」では、人口推移や学区児童数、都市計画等さまざまなことを詳細にまとめていただきました。講義中に「そうだったんだ」というようなお声も聞こえ、改めて中央区を学ぶ機会となりました。「地区委員会の目的・課題」につきましても、お申し込み時にお伝えした希望をテーマに絡めた内容であり、参加者の問題意識をより強め、また、課題をはっきりとしてくださいました。次の「大人も子どもも関わりたくなる地区委員会活動」、「参加したくなる広報戦略」、そしてその課題に対する解決方法の案をご紹介いただき、最後の「企画から実施まで、事例を通して考える」で、講義で紹介された解決方法をどのように実現したらよいか、ご自身の街づくりのご経験を交えてお話ししてくださいました。

この講義に関するアンケート結果を画面に表示しております。参加者35人中25人が回答してくださいました。満足、まあまあ満足が80%と過半数を超える結果となっております。

受講後の活用状況として、アンケートなどは取っていませんが、一点口頭でご報告いただいたことがあります。ある地区委員会では、毎年3月に料理教室を主催しています。ただし、近年参加者が集まらず、どうしたらよいかというご相談を令和6年度の夏頃から受けており、何度か打ち合わせをしていましたが、結果として例年通りに行うことになっていました。今回の講義の中で、参加したくなる広報戦略について、まずはできることをとことんやるというようなお話が講師からありました。最初からYouTubeやSNSなど自分の知らない分野に手を出すのではなく、例えばまだ区民館にイベント募集のチラシを配布していないな、や学校に行って直接児童に話せないかな？など、まだやっていないことにフォーカスを当てて、まずはやり尽くすという内容でした。この内容を受けて、令和6年度の料理教室を開くにあたって、料理教室の前にあるその地区委員会が主催しているバスハイクで料理教室について周知を行ったそうです。結果、参加者が急増したという、嬉しそうにご報告をいただきました。

実際の地区委員会の活動に効果的な内容をご教示いただくことができ、アドバイザー派遣制度を利用してよかったと感じています。以上です。

○地域活動推進担当課長

ありがとうございました。続いて、福生市よりご報告いただきます。

#### ○福生市子ども家庭部子ども政策課子ども政策係

皆様、初めまして。私は福生市青少年育成地区委員長会の事務局を務めております、福生市子ども家庭部子ども政策課子ども政策係の桑田と申します。どうぞよろしくお願いいたします。

それでは、スライドに沿って福生市青少育地区委員長会、地区アドバイザー派遣事業活用報告をさせていただきます。

まず、活用報告をする前に、福生市青少育地区委員長会についてご説明いたします。福生市青少育地区委員長会は、市内 32 地区の福生市青少年育成地区委員会の地区委員長で構成されている組織で、現在は 25 地区の地区委員長で構成されております。主な活動は記載の通り、8 月、11 月に行っております。

令和 6 年度に本事業を活用した経緯としましては、町会や PTA など、他の組織と連携がうまくできていない、個人情報保護の観点から、子供たちの情報が集まりにくい、また、コロナ禍や役員不足により、年 2 回のイベントを年 1 回のふっさ青少育フェスティバルとして開催しているといった課題と現状がございました。

今回、本事業を活用する目的として、人材不足を解消するため、新たな担い手の確保、育成をメインに研修会を実施いたしました。

日程としましては、記載のとおりでございますが、昨年、令和 6 年 8 月 28 日（水曜日）の午後 7 時から 9 時、場所は、福生市もくせい会館で行っております。

講師のハン・チャンヒさんに関しましては、一応こちらでは NPO 法人横浜プランナーズネットワーク副理事長と書いておりますが、他にも様々な経歴をお持ちの方でございます。

当日の研修の参加者につきましては、29 名でございまして、地区委員長は先ほど 25 名と申しましたが、各地区の地区委員も数名参加されました。

当日の研修会内容は記載の通りとなっております。

本事業を通して、講師から実例をもとに「青少年たちも担い手と捉える」というお話がありました。その内容を基に、令和 7 年 11 月に開催される第 4 回ふっさ青少育フェスティバルにおいて、子どもたちが中心となったブースの出店を準備しております。

準備内容としましては、昨年、市内に所在する児童館に協力を仰ぎ、ブース出展していただきましたので、今年も児童館に協力を仰ぎ、児童館事業として、今回の趣旨に沿った青少育フェスティバルのブース出展を組み込んでいただき、実施に向けて準備をしていた

だいております。

また、研修会では、大人は基本口出しをしないことが子どもたちの主体性を育めるとのことだったので、そちらも踏まえた上で、児童館にはブース出店の準備をしていただいております。

報告は以上となります。ご清聴ありがとうございました。

#### ○地域活動推進担当課長

ありがとうございました。

それでは、今までの内容についてご質問のある方はいらっしゃいますでしょうか。都の事業に関して、また、中央区、福生市のご報告に関することでも結構でございます。ご質問のある方は挙手ボタンを押してください。こちらからの指名がありましたら、ミュートを解除してマイクをオンにさせていただき、所属とお名前をおっしゃった上でご質問願います。

では、ご質問無いようですので、続きまして意見交換に移らせていただきます。

皆様が日頃取り組まれていることや感じていらっしゃる事など含めまして、ご意見等ございましたらお願いいたします。また、本会についてのご意見等も含めまして、本会終了後にアンケートをお願いしておりますので、ぜひご回答の方をお願いします。

それでは私の方から本日の区市町村の青少年健全育成活動についてご報告いただきました、中央区さんと福生市さんにご意見を伺いたいと思います。

現在、区市町村の多くで地域活動の担い手不足が問題になっておりまして、担い手の確保にご苦労されていると思いますが、中央区さんではいかがですか？もし何かご対応されていることがございましたら教えていただけますでしょうか。

#### ○中央区区民部文化・生涯学習課青少年係長

中央区です。

地域活動の担い手不足については、どちらの自治体でも課題になっていると思いますけれども、今回、2月の講義の中では、印象に残ってるのが2点ございまして、1点が、自分の得意分野で地域のために役立ちたいと考えている人は結構いるっていうふうに、講師の方がお話されていて、自分の好きなことが人の役に立つことは嬉しいことだと思いますので、そのようなアプローチで担い手を募集していくのは、今後いいのかなと思いました。2点目が、パートで関わるっていうことを講師の方がおっしゃっていて、ワンセットの仕事ではなくて。部分的な手伝いならできるっていう方は結構いらして、1時間2時間程度

であれば、当番で参加できる方もいるということですので、イベントの運営に協力者が必要な場合の工夫としては、気軽に関わられるような仕組みが有効的なのかなというふう  
に感じております。以上です。

#### ○地域活動推進担当課長

どうもありがとうございました。

福生市さんはいかがでございましょうか。

#### ○福生市子ども家庭部子ども政策課子ども政策係

先ほどのお話でもありましたが、やはり福生市でも担い手不足というのはありまして、  
また各地区によっても青少年としての活動も様々であり、元々の青少年の構成員も、町会  
であったり、PTA といったような形で様々になっているので、どのようにアプローチすれ  
ばよいかというのは積年の課題でございます。

今回の研修で「青少年たちの担い手として捉える」というところで、かなり参加してい  
ただいた地区委員、また地区委員長の方も、考え方が変わったということもあって、  
元々あった子供会、地区のお祭りなどでも模擬店をやっていると、子供たちも興味を惹か  
れているようで、声をかけると「やってみたい」ということで、その場ですぐ参加する  
ということもあるようです。やはり大人だけではなくて、子供の目線に立っているところも  
大事で、子供たちにもアプローチができればいいなと思い、今回もそういった取り組みを  
しているので、継続していきたいと考えております。以上です。

#### ○地域活動推進担当課長

福生市さん、どうもありがとうございました。冒頭、都事業で紹介しましたが、地区  
委員会アドバイザー派遣事業をぜひ、各自治体の皆様にご活用いただけたらと思います。

それでは、お時間となりましたので、これで令和七年度、地域における青少年健全育成  
会議を閉会とさせていただきます。

皆様方から寄せられるご意見を今後も参考にしていきながら、私どもも、地域における  
青少年施策に取り組んでまいります。今後とも引き続き、ご理解とご協力のほど、よろし  
くお願い致します。

なお、お手数ですが今後の参考にさせていただきますので、アンケートへのご協力をよ  
ろしくお願いいたします。今画面に表示されている QR コードからご回答ください。本日  
はご多用のところ、誠にありがとうございました。